



当期の事業活動について

第113期 第2四半期（中間期）決算を終えて

平成26年3月1日から平成26年8月31日まで

特集

TDDSにおけるキーププレーヤーを目指して

新5ヵ年中期経営方針がスタート

トピックス

「貼る治療文化」への評価と新たな成果

消炎鎮痛貼付剤に与えられた栄誉

全国発明表彰「特許庁長官賞」受賞

拡がる「フェントス®テープ」の治療効果

慢性疼痛効能追加の承認を取得

TOPICS

トピックス

「貼る治療文化」への評価と新たな成果

消炎鎮痛貼付剤に
与えられた栄誉

全国発明表彰
「特許庁長官賞」
受賞

久 光製薬の特許「皮膚吸収性に優れた消炎鎮痛貼付剤の発明」が、このたび平成26年度全国発明表彰で特許庁長官賞を受賞しました。これは、実施品である「モーラス®テープ」が、製剤からの高い薬物放出性と皮膚への高い吸収性を持ち、関節部位にも密着貼付できるにもかかわらず皮膚かぶれが低減されるとともに、初めて貼付剤として腰痛症と関節リウマチの適応を取得したことが認められたものです。「貼る治療文化」による産業経済への貢献が認められました。

拡がる
「フェントス®テープ」
の治療効果

慢性疼痛効能追加
の承認を取得

経 皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」は、慢性疼痛の効能追加に関する承認を、6月20日付で厚生労働省より取得しました。

「フェントス®テープ」は2010年4月、国内で「中程度から高度の疼痛を伴う各種がんにおける鎮痛」を効能効果とする承認を取得し、同年6月から協和発酵キリン株式会社との共同販売を展開してきました。

今回の追加承認取得を踏まえ、販売活動を一層強化し、がん性疼痛および慢性疼痛に苦しむ患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

CONTENTS

P1 トピックス

P2 第113期第2四半期決算のご報告

P3 特集

P5 スポーツイベント／新商品

P6 連結第2四半期決算ハイライト

P7 連結財務諸表（要約）

P9 会社の概況／株式情報

P10 インフォメーション

■ 将来予想に関する記述についての注意事項

この当期の事業活動についての業績予想に関する記述及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて、現時点で合理的であると判断したものです。従って、実際の業績は、さまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。実際の業績に影響を与えうる要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場の動向、為替相場の変動、法律及び規制、製品の開発状況などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。

第113期第2四半期決算のご報告



代表取締役社長 中富 博隆

株主の皆様には、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第113期第2四半期（平成26年3月1日～平成26年8月31日）の営業の概況と決算につきましてご報告させていただきます。

国内の営業状況を振り返りますと、医療用医薬品事業は「ノルスパン®テープ」「フェントス®テープ」が好調に推移したものの、薬価引き下げと後発品使用促進策の影響により、前年同期の売上を下回りました。一般用医薬品事業は、主力の「サロンパス®」「サロンシップ®」に加え、「フェイタス®Z」シリーズの新商品などが販売を伸ばし、増収を果たしました。

海外の営業状況では円安効果に加え、アメリカにおいて「Minivelle®」「Brisdelle®」など医療用医薬品の主力商品が売上を拡大しました。一般用医薬品は、積極的な広告宣伝活動を展開しているアメリカの他、インドネシアやベトナムの子会社も売上を拡大し、増収となりました。

以上の結果、当第2四半期の連結売上高は770億5千2百万円（前年同期比0.4％減）となりました。利益面では、販売促進強化に伴う販売費及び一般管理費の増加を受け、連結営業利益が103億5千5百万円（同16.9％減）となり、連結経常利益は155億7千2百万円（同7.6％減）、連結四半期純利益は95億7千4百万円（同30.0％減）となりました。

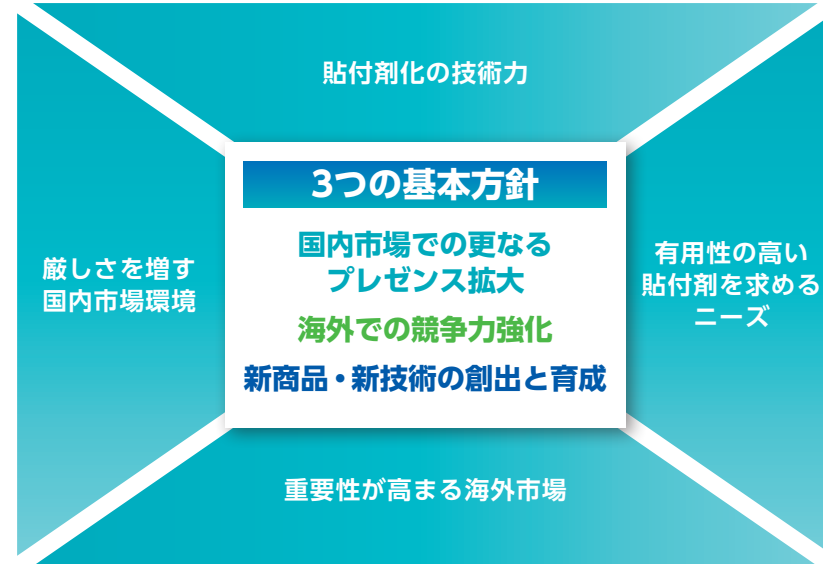
株主の皆様におかれましては、当社グループ事業のさらなる発展にご期待いただきますとともに、引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

TDDSにおけるキープレーヤーを目指して 新5カ年中期経営方針がスタート 《2014年度－2018年度》

第5期中期経営方針の 策定背景

2014年2月に終了した第4期中期経営方針（2009年度－2013年度）は、積極的な新商品の上市や育成、Noven社を中心とする海外事業の伸長、研究開発パイプラインの進展など、多くの成果を上げました。しかし、外部環境の変化や競争の激化等による影響を受け、当初掲げていた経営目標数値は未達となりました。

以上を踏まえ、第5期中期経営方針では、当社が克服すべき課題と将来の成長を見据えながら、計画最終年度（2018年度）の経営目標数値を確実に達成すべく、ここに示す基本方針を遂行していきます。



1 国内市場での更なるプレゼンス拡大

医療用医薬品

- 外用鎮痛消炎貼付剤の売上維持
- 新商品における育薬の推進
- 整形外科およびペイン領域の販売アイテム拡充

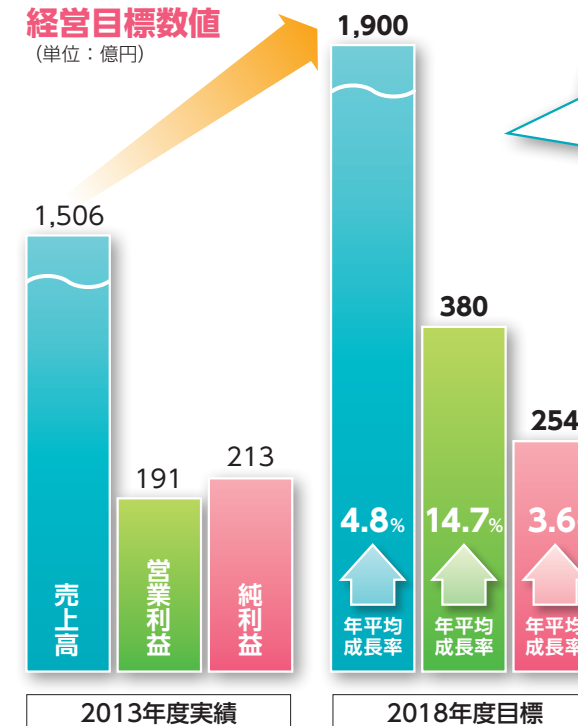
国内の医療用医薬品については、モーラス®群の営業を強化し、シェアの維持に努める一方、フェントス®テープ、ノルスパン®テープ、ネオキシ®テープといった新商品の育薬を進めていきます。

一般用医薬品

- 新規カテゴリーへの積極展開
- 使い勝手の良い商品改良の実施

国内の一般用医薬品は、水虫市場とアレルギー鼻炎市場に続く新たなカテゴリーへの参入を果たします。また、お客様満足度の向上を図るべく、継続して商品改良を実施します。

経営目標数値 (単位：億円)



売上高は今後5年間で
年平均**4.8%**の成長を遂げ、
1,900億円へ
原価率35.0%、販管費率45.0%の
実現を目指します。

株主還元策および資本政策

配当性向	30.1%	➡	40.0%以上
DOE 自己資本配当率	3.5%	➡	4.5%以上
ROE 自己資本純利益率	11.8%	➡	11.0%以上
2013年度実績		2018年度目標	

2 海外での競争力強化

アジア

- オペレーション（営業・生産）の現地化

米国（Noven社）

- 研究開発テーマの一元化と欧州・南米への展開
- 製造拠点としてのNoven社の活用
- 新商品の販売強化

アジアでは、久光アジア（仮称）を設立し、営業・生産の現地化を進めていきます。米国では、Noven社と研究開発テーマを一元化して、効率的に進めると同時に、生産体制の再構築、新商品の販売を強化していきます。

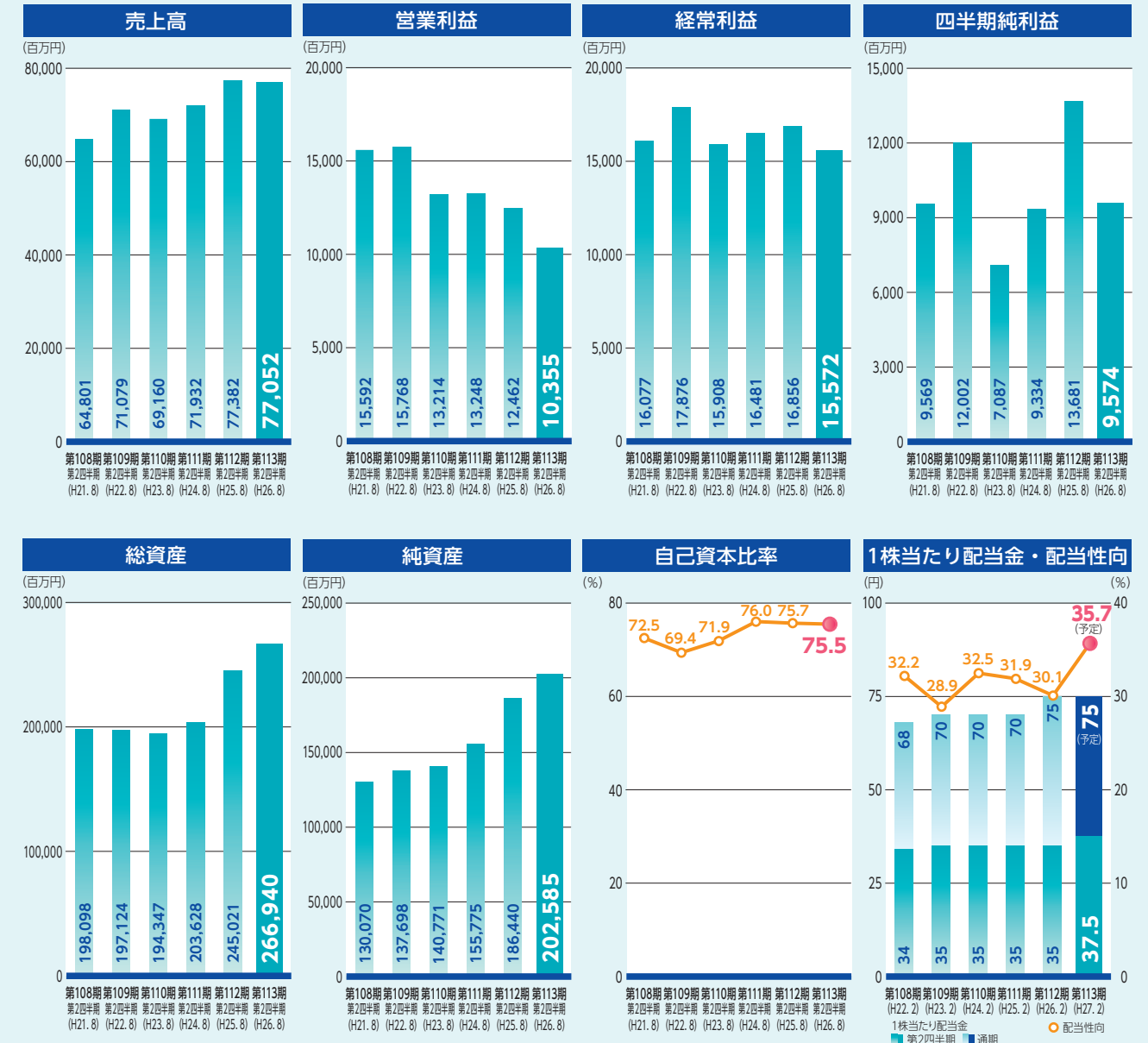
3 新商品・新技術の創出と育成

研究開発

- 徹底的な商品の差別化
- 新規基盤技術の開拓
- 候補薬物の網羅的探索と積極的なアライアンス

研究開発では、貼付剤の剤形メリットを最大限に活かすことで、差別化を図っていきます。新技術の創出においては、マイクロニードルを始めとする新規基盤技術の開拓に取り組んでいきます。

連結第2四半期決算ハイライト



スポーツ イベント

アジアを制した久光製薬スプリングス 2014アジアクラブ選手権大会優勝、国内大会連覇



アジアクラブ選手権大会優勝の瞬間

2012/13シーズン、史上初の公式大会5冠を制覇した久光製薬スプリングス。2013/14シーズンも快進撃が続きました。

2013年12月の天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会決勝と、2014年4月のV・プレミアリーグ女子決勝は、いずれも岡山シーガルズとの対戦。天皇杯・皇后杯はセットカウント3-0でストレート勝ち、V・プレミアリーグは3-1で下し、両大会とも2年連続4回目となる優勝の座に輝きました。

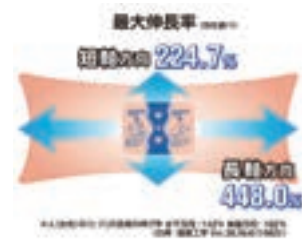
そして2014年4月、タイで行われたアジアクラブ選手権大会は、1セットも落とさず勝ち進み、中国との決勝戦も3-0で奪取。優勝を果たしました。



スパイクを打つ新鍋選手

新商品

フェイス®シリーズのラインナップを強化！ 効きめの持続と使いやすさで激しくつらい痛みを緩和



フェイス®Z史上、最高濃度となるジクロフェナクナトリウムを2.0%配合した「フェイス®Zジクサス®」「フェイス®Zジクサス®大判」を新発売しました。効きめはもちろん、伸縮自在で肩・腰・関節などにピタッとフィットします。

同時発売の「フェイス®Zクリーム」「フェイス®Zαローション」は、塗るタイプとしての使いやすさを追求した新ラインナップです。なめらかでよく伸びるクリームと、手を汚さず簡単に塗布できるローションを、状況に応じて使い分けていただけます。

連結財務諸表（要約）

Point 1 資産

当第2四半期末の総資産は、前期末と比較して150億8千7百万円増加し、2,669億4千万円となりました。主な増減は、現金及び預金(47億2千3百万円増)と受取手形及び売掛金(84億2千4百万円増)、その他流動資産(27億1千9百万円増)です。

Point 2 負債

当第2四半期末の負債合計は、前期末と比較して88億1千万円増加し、643億5千5百万円となりました。主な増減は、支払手形及び買掛金(25億9千5百万円増)とその他流動負債(49億4千1百万円増)です。

Point 3 純資産

当第2四半期末の純資産合計は、前期末と比較して62億7千7百万円増加し、2,025億8千5百万円となりました。主な増減は、利益剰余金(61億4千6百万円増)です。

Point 4 売上高・営業利益

当第2四半期までの売上高は、前年同期比0.4%減の770億5千2百万円となりました。国内市場では、医療用医薬品事業が薬価引き下げと後発品使用促進策の影響を受けて減収となる一方、一般用医薬品事業は主力商品、新商品とも好調に推移し、増収となりました。海外市場では、円安の影響に加え、医療用医薬品がアメリカにおいて主力商品の売上を伸ばしました。一般用医薬品は、広告宣伝活動を強化しているアメリカの他、インドネシアやベトナムの海外子会社でも売上が好調に推移し、増収となりました。営業利益は、販売促進活動の強化に伴う販売費及び一般管理費の増加により、前年同期比16.9%減の103億5千5百万円となりました。

連結貸借対照表 (単位:百万円)

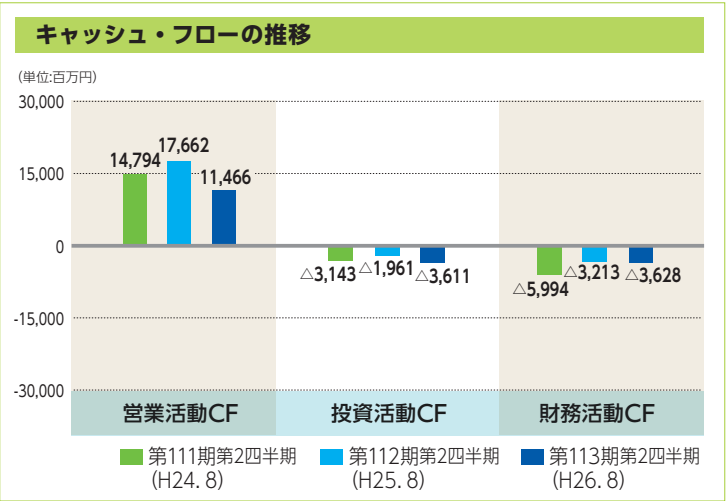
科 目	当第2四半期末 (H26.8.31 現在)	前期末 (H26.2.28 現在)
資産の部		
流動資産	153,646	139,107
固定資産	113,294	112,745
有形固定資産	43,326	43,330
無形固定資産	15,207	16,812
投資その他の資産	54,760	52,602
① 資産合計	266,940	251,852
負債の部		
流動負債	49,637	41,745
固定負債	14,717	13,799
② 負債合計	64,355	55,544
純資産の部		
株主資本	189,009	182,865
その他の包括利益累計額	12,624	12,577
少数株主持分	951	865
③ 純資産合計	202,585	196,308
負債純資産合計	266,940	251,852

連結損益計算書 (単位:百万円)

科 目	当第2四半期 (H26.3.1 から H26.8.31まで)	前第2四半期 (H25.3.1 から H25.8.31まで)
④ 売上高	77,052	77,382
売上原価	27,901	28,018
売上総利益	49,150	49,363
販売費及び一般管理費	38,795	36,900
④ 営業利益	10,355	12,462
営業外収益	5,269	4,439
営業外費用	52	46
経常利益	15,572	16,856
特別利益	20	5,087
特別損失	10	95
税金等調整前四半期純利益	15,582	21,849
法人税等	5,865	8,022
少数株主損益調整前四半期純利益	9,716	13,826
少数株主利益	142	144
四半期純利益	9,574	13,681

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	当第2四半期 (H26.3.1 から H26.8.31まで)	前第2四半期 (H25.3.1 から H25.8.31まで)
⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー	11,466	17,662
⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,611	△ 1,961
⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,628	△ 3,213
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 871	2,091
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	3,353	14,579
現金及び現金同等物の期首残高	77,780	50,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	81,134	65,439



Point 5 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動から得た資金は、114億6千6百万円(前年同期は176億6千2百万円)の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益155億8千2百万円と売上債権の増加額85億7千7百万円などによるものです。

Point 6 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に使用した資金は、36億1千1百万円(前年同期は19億6千1百万円)の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出23億6千万円、投資有価証券の取得による支出11億9千6百万円などによるものです。

Point 7 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に使用した資金は、36億2千8百万円(前年同期は32億1千3百万円)の支出となりました。これは主に、配当金の支払額34億2千8百万円などによるものです。

インフォメーション

株式の状況

発行可能株式総数	380,000,000株
発行済株式の総数	95,164,895株
株主数	6,980名

株主名	持株数 (千株)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	6,388
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	4,637
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱東京UFJ銀行口)	4,387
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (リソな銀行再信託分・株式会社西日本シティ銀行退職給付信託口)	4,370
日本生命保険相互会社	3,910
株式会社福岡銀行	3,871
株式会社佐賀銀行	2,956

所有者	割合
金融機関	47.40%
その他の法人	18.35%
個人	9.95%
外国人	13.01%
証券会社	1.34%
自己名義	9.95%

Figure 1 is a box plot illustrating the distribution of the number of employees per company in Japan. The vertical axis (Y-axis) represents the number of employees in Japanese Yen (¥), ranging from 0 to 6,000. The horizontal axis (X-axis) shows time points: H24年 2月, H25年 2月, H26年 2月, and H26年 8月. The plot shows a general upward trend in the number of employees per company over time, with a notable increase in the median and a wider distribution of values by H26年 2月 and H26年 8月.

(注) 監査役 小野桂之介、市川伊三夫及び徳永哲男は、社外監査役です。

行弘彦介	舒正宗桂伊三	富田野野川永	中上平小市徳	役役役役役役	查查查	勤勤勤	常常常	明政郎久夫一	敏光信進	田島尾藤山	鶴樫高齋堤村	役役役役役役	締締締締締締	取取取取取取	隆榮介雄人	博一耕哲成	富富山山後	中中杉秋肥	長長役役役役	社社締締締締	役役取取取取	表締務務務務	代取專常常常
------	--------	--------	--------	--------	-----	-----	-----	--------	------	-------	--------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------

インフォメーション

公告掲載新聞 日本経済新聞

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL. 0120-232-711 (通話料無料)

各市場第1部及び福岡証券取引所

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

久光製薬株式会社 九州本社
総務部 株式課
〒841-0017 佐賀県鳥栖市田代大官町408
TEL. 0942-83-2101 FAX. 0942-83-6119

久光製薬株式会社 東京本社
お客様相談室
フリーダイヤル 0120-133250
受付時間 9:00～12:00
13:00～17:50（土日、祝日を除く）

特別口座に記録された株式

<p>お手続き、ご照会等の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特別口座から一般口座への振替請求 ● 単元未満株式の買取（買増）請求 ● 住所・氏名等のご変更 ● 特別口座の残高照会 ● 配当金の受領方法の指定（※） 	<p>特別口座の 口座管理機関</p>	<p>お問合せ先</p> <p>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711（通話料無料） 受付時間9：00～17：00（土日、祝日を除く）</p>
<p>● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会</p> <p>● 支払期間経過後の配当金に関するご照会</p> <p>● 株式事務に関する一般的なお問合せ</p>	<p>株 主 名 簿 管 理 人</p>	<p>【手続き書類のご請求方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479（通話料無料） ○ インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufig.jp/daikou/

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株 主 名 簿 三菱UFJ信託銀行株式会社 管 理 人 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間9：00～17：00 (土日、祝日を除く)
<ul style="list-style-type: none"> ● 上記以外のお手続き、ご照会等 	□座を開設されている証券会社等にお問合せください。

最新の会社情報を当社ホームページに掲載しております。今後も、株主・投資家の皆様にお役立ていただけるようさらなる工夫を加え、掲載情報のより一層の充実を図ってまいります。

<http://www.hisamitsu.co.jp/>



見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサルデ
ザインフォントを採用
しています。



Hisamitsu®



「きもちいい」へのパス。

肩こり・腰痛
筋肉痛に

サロンパス®

第3類医薬品

